

## 『MOTTAINAI』（5月27日）を振り返って・・・

今回は「もったいない」について考えました。実は、私たちにとって当たり前の「もったいない」（ものに対して尊敬や感謝を表し、ものがなくなると、惜しく思う気持ち）は、日本にしかない考え方ということ。その「もったいない」という言葉が「MOTTAINAI」として世界で広がっていること。その事実には驚いた人も多かったですね。フンガリ・マータイさんの3R活動（「リユース」「リデュース」「リサイクル」）の提唱から、環境問題における「MOTTAINAI」について考えました。そして「さだまさし」さんの「MOTTAINAI」の歌からは、目には見えない「MOTTAINAI」について考えました。今回も深い気付きがたくさんできました。これからも身の回り、そして自分の心の中に「MOTTAINAI」を見つけて、物も心も大切にしていこう！

<みんなの感想より>

●「もったいない」は、ふつうに使っていたけど深い意味があって、世界では、「この言葉は素晴らしい」という声もあるなんて知らなかった。「もったいない」という気持ちをこれからも大切にしていき3Rに取り組んでいきたい。そして「もったいない」ものを見つけてそれを改善できるようにしたい。日本に生まれてきて、「もったいない」なんて、あまり思わなかったけど貧しい国々のことをもっと知れば「もったいない」は身近なのかもしれない。（女子）

●僕は普段身の回りなどのMOTTAINAIを気にしていたけど、さだまさしさんのMOTTAINAIを聞いて僕の身の回りには目に見えないMOTTAINAIがあるとわかったので、これからは目に見えないMOTTAINAIに気づきたいです。（男子）

●まだ使えるのに「もう一度使おう」とする工夫もせず、ただ捨てるのはおかしいと思いました。私たちのように自由に物を買って使うことができる国は数少ないのに「MOTTAINAI」と思わないというのなら、自分の生活をもっと見直すべきだと思います。自分ひとりが気を付けてもどうすることもできません。一人ひとりが「MOTTAINAI」という気持ちをもつことで、もっと充実した生活が送れると思います。物を無駄にし続けて後になって困るのは人間なので限りある資源を工夫して再利用方法を考えなければいけないと思いました。（女子）

●振り返ってみると自分も水を出しっぱなしにしていたり、短くなったえんぴつをすぐ捨てていたりしたので「3R」を意識して生活をしていき、自分ができる最善のことを考えて、今日の授業をこれからの生活に活かしていきたいです。（男子）

●僕たちは「とても平和な時代に生まれてきて、人のやさしさに気づけずにいたんだ」ということがすごくわかった。自分には考える頭があるのだから、何があってもまず一度自分で考えることを心掛けたい。（男子）

●もったいないのはものだけじゃなく、「できるのにやらない」「やさしくされている・気遣ってもらっているのにそれに気づけない」という心や、やる気の問題の「MOTTAINAI」だということがわかりました。私はものの「MOTTAINAI」より「やろうと思えばできたのに・・・」という「MOTTAINAI」のほうがはるかに「もったいない」と思います。来週の校外学習では、「協力」が大切だと思います。ということは、たとえば「誰かが困っているのに手伝わない」や、「なわとびを飛べるのにやる気がないから飛ばない」などの「MOTTAINAI」をなくして、校外学習を楽しみたいと思います。（女子）